

輸出事業計画

※申請者名：株式会社 上尾製菓、品目：菓子

1. 輸出における現状と課題

- ・国内の販路を拡げる過程で、平成29年に京半生菓子商品が国内の輸出商社を通じて香港に流通したことが輸出事業への取り組みのきっかけとなる。
- ・「京半生菓子」は見た目が華やかで和風の趣きがあることから取引先や展示会において、主にアジア圏を中心に非常に好評。
- ・和風ラムネや京都産抹茶を使った固形型カップチノの商品がアジア圏を中心に取引が決定。
- ・生産能力不足、HACCPに基づいた衛生認証を有していないこと、また取引先の要望する添加物規制などへの対応ができないことから、施設・体制整備が必要。
- ・現在は国内商社を通じた輸出を行うことを主な商流としており、今後海外輸出の増加に向けて新たな商社の新規開拓も課題としている。

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・設備導入により生産能力を強化し、輸出ラインの増設を行う。これまで対応できなかった大ロットの輸出案件への対応を可能にし、機会損失の低減を図る。
- ・専門家のアドバイスを受け、施設整備を進めることで取引先より求められているHACCP認証JFS-Bの取得をし、保留案件の解消及び取引増加につなげる。
- ・相手国の添加物制限に対応するため、器具や生産機械、ラインを分けることでその対策とし、保留案件の解消及び取引増加につなげる。
- ・海外取引において英語のできる営業担当の人材確保を行い、積極的に展示会出展することで現地企業との商談や輸出商社との取引機会の増加を図る。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

取引商社からの現地情報/規制情報や現地訪問によるニーズ把握に基づき、輸出事業計画を検討

上記のフィードバック等を通じて現地消費者の求める商品製造・改善に着手



計画に基づき、国内・海外での商談会へ参加し、輸出を実施

輸出の進捗状況について、商社や現地訪問、展示会で把握した販売状況等の評価・アドバイスを踏まえ、必要に応じて計画を見直し

輸出事業計画

※申請者名：株式会社 上尾製菓、品目：菓子

4. 輸出目標額

	【現状】 (令和3年度)	【目標】 (令和9年度)
輸出額	100万	5,100万
主な輸出先	中国・香港・韓国・台湾	中国・香港・韓国・台湾・その他

- ・ 目標額の内訳は、京半生菓子(750万円)、和風ラムネ(3,180万円)、固形型
カプチーノ(1,170万円)